



白内障の手術を開始しました

平成27年7月30日から白内障の手術を開始しました。

～ 白内障の診断と治療 ～

白内障とは

人の眼はカメラにたとえられます。カメラのレンズに相当するのが水晶体です。本来無色透明ですが、水晶体が濁ると光が乱反射し鮮明な映像が網膜に伝わらず視力が低下します。

原因

さまざまな原因により起こりますが、**最も多いのが加齢によるもの**で、水晶体の中身のタンパク質が変性して濁ってくるといわれています。

そのほか糖尿病、ステロイド内服、アトピーや外傷などで生じます。

症状



かすむ



視力低下



まぶしさ

etc...

治療

ゆっくりと進行するため日常生活に支障がなければ、経過観察もしくは進行を遅らせることを期待して薬物療法を行います。水晶体の濁りが強くなり、日常生活に支障がでるようであれば手術を考えます。

白内障手術の実際

手術は「超音波水晶体乳化吸引術」で行われます。角膜の近縁で2～3mm切開し、超音波機器を用いて水晶体を細かく砕いて吸引した後、眼内レンズを挿入します。

手術は局所麻酔で行い、手術時間は10～20分程度です。患者様の体の負担が比較的小さいため、当院では日帰り手術を行っております。

白内障手術装置 ～CENTURION VISION SYSTEM～

白内障手術装置は、小切開創の水晶体摘出術および眼内レンズ挿入補助に使用するためのものです。

このシステムによって、医師は眼内で水晶体を乳化し吸引しながら、水晶体物質を眼灌流液と入れ替えることができます。



当院では

当院の7・8月の受診者の平均年齢は77.8歳で、最高齢の患者様は92歳の方が手術を受けております。「私でもまだ大丈夫かなあ？」と心配されている患者様がいらっしゃいましたら、積極的な受診をお待ちしております。

～健康フェスタ開催のお知らせ～

11月

7日

土

9:00 ~ 14:00

雨天決行

参加費無料

開催場所：

由比生涯学習交流館
2階ホール

(静岡市清水区由比
北田457番地の1)

テーマ

健康で安心して生活できる身体づくりを目指して

〈開催内容〉

- ①検査体験 ～骨密度・血管年齢・体脂肪・筋肉量・血圧～
- ②健康相談 ～専門スタッフがお答えします～
- ③あなたのバランス年齢は？ ～体力測定コーナー～
- ④AEDを使った救命講座
- ⑤ハンドトリートメント ～癒しのひと時を～
- ⑥咳エチケットキャンペーン
～インフルエンザの予防、正しいマスクの使用方法～
- ⑦記念撮影 ～白衣を着て記念写真をどうぞ～
- ⑧肝炎検査についてのお知らせ

当フェスタは蒲原病院職員による地域住民健康促進応援活動です

【お問い合わせ】0545-81-2211

内線8607 実行委員長 渡辺(看護部)

～認定看護師紹介～

今年度、新たに2名の認定看護師が加わりました！！

救急看護認定看護師 岡下 和代



7月採用

救急看護認定看護師の役割としては、人々の様々な状況において、突然かつ急激に生じたあらゆる健康レベルの健康問題に対して、迅速かつ的確な専門的看護ケアを提供することです。院内においては、スタッフが急性期の患者様やその家族の問題に対して迅速に対応できるよう教育活動することが認定看護師としての一つの役割です。また院外においては、救命処置をはじめ、けがなどの応急処置や熱中症予防について、あるいは食物アレルギーを始めとするアナフィラキシーショック時の対応などについての講義や実践を行っています。

まだこの地に慣れていませんが、院内外を問わず活動していますので、何かありましたら気軽に声を掛けて下さい。

透析看護認定看護師 谷沢 美恵子



4月採用

透析看護認定看護師として、患者様一人一人の思いを大切に、患者様の抱えている問題をともに考えられる看護を目指し、透析医療のコーディネーターの役割を担えるよう努力しています。

現在、当院の透析センターでは、安全・安楽な透析ができるように、必要な自己管理指導を中心に患者様への指導・相談を行っています。今後は腎不全教室や個別指導など、レベルアップに努めていきたいと考えます。

現在、全国で30万人以上の方が腎臓の機能を失い人工透析を受けています。今後も年間3万人以上の方が新たに人工透析が必要になると予測されていますが、その原因のほとんどは慢性腎臓病(CKD)です。まさに国民の8人に1人がいずれCKDと言われ、放置すれば透析導入の可能性があるとされています。地域の皆様がCKDを早期発見・治療ができるよう、広報活動や支援を行っていきます。

新人看護師紹介

今年4月に採用された新人看護師に半年間の振り返りをしてもらいました。

東2病棟 伊東 真一

この6ヶ月を振り返ると、看護師国家試験には合格したものの実際の現場では解らない事もあり困惑してしまう場面もありました。



しかし、先輩方の指導の下でできることが増え少しずつですが自信もついてきたように感じます。できることが増えるにつれ、患者様を受け持たせていただく責任とともに日々の忙しさも実感し、改めて看護を提供することの大切さ、大変さを感じています。

また、名前を覚えていただくことや、「ありがとう」という一言がうれしく、やりがいも感じています。患者様の抱えている不安に寄り添い心の支えとなり信頼される看護師になれるよう、向上心と積極性を持ち頑張りたいと思います。

東2病棟 田中 志歩

看護師になり入職し早6ヶ月が経ちました。当院は新人教育も整っており、先輩方も気にかけてくださるため、日々学び成長する機会があります。



今は緊張の日々ですが、できることを精一杯行い、笑顔で患者様に接するように意識しています。患者様にお礼や励ましの言葉をかけて頂くたび、元気づけられています。

これからも多くの知識・技術をつけ経験を積み、患者様に寄り添い患者様が身体的・精神的にも安楽に過ごせる看護を行えるように頑張っていきたいと思います。まだまだ未熟な私ですがひとつひとつ丁寧に確実に進んでいきたいと考えています。

新3病棟 太田 比呂子

4月に入職したころは初めてのことも多く、技術的にも未熟で戸惑ったり悩んだりしたこともありましたが、今では先輩看護師から指導を受けたことが少しずつわかるようになり、指導されたことを思い出しながら、基本に忠実に、患者様を第一に考えながら看護を行えるようになりました。少しずつですが一人でできることも増え、今まで以上に責任の重さを感じています。



私は患者様の思いに耳を傾け、患者様が喜んで頂ける看護を目指し、これからも自分の夢であった理想の看護師に近づけるように努力していきたいと思っています。

東3病棟 下出 福実子

最初は右往左往の状態が毎日早く過ぎ、帰ったらすぐ寝るという生活でした。業務が終わらない私に勤務時間を過ぎても指導して下さる先輩方がいました。申し訳ない気持ちと自分の能力の低さに悔しさで涙してしまった時、「最初はできなくて当然なんだよ。」と励ましてくれました。



患者様へ優しく笑顔で時に厳しく接する姿や、的確な判断や素早い対応・処置を学び、初めて看護は素晴らしい、かっこいい!!と思えました。“患者様の命を危険にさらさない”ことと“責任をもって仕事をする”ことを大切に、心温かく、質の高い看護を提供できるよう日々精進していきたいと思っています。

高校生1日ナース体験

7月24日(金)

静岡県看護協会が実施している高校生1日ナース体験事業を行いました

今年は富士・富士宮市より9名の高校生が参加してくれました。この事業は、病院での看護体験を通して「看護の心」を理解し、看護職への関心を深め、1人でも多くの高校生が将来看護の仕事を選択するよう実施されるものです。

朝、来院した時にはとても緊張した面持ちでしたが、オリエンテーションのあとに白衣に着替え病棟に行き、看護師と共に患者様への援助を行ったり、リハビリテーションの様子を見学したりしました。また、感染管理認定看護師や皮膚・排泄ケア認定看護師より手洗いや褥瘡についての説明を受け、実際に手洗いを体験したり、褥瘡予防のためのベッドに実際に寝て感触の違いを実感したりしました。このころにはリラックスした様子でまぶしい笑顔がたくさんみられました。



体験が終了した後、高校生からは「看護師さんはいろいろなところでコミュニケーションがとれていて自分もそうになりたいです」「今まで見たことのないところを見ることができ、一人の患者さんに様々な人が関わっていることがわかりました」「患者さんが楽しく話してくれてうれしかったです」などの感想が聞かれました。これからも一人でも多くの高校生が看護に触れあえる場を提供していきたいと思えます。

地域医療支援室 ~このような相談を受け付けています~

・医療福祉相談 ・看護相談

医療福祉に関することを中心に、退院後の療養・生活全般・病気などの不安・患者様とご家族が抱える様々な問題を共に考え、専門職員（医療ソーシャルワーカー、看護師）がご相談に応じ、サービス調整を行います。

病気や障害によっておこる生活の問題、心理的・経済的な問題などでお困りの患者様やご家族の方は、お気軽に地域医療支援室にご連絡下さい。

【お問い合わせ】0545-81-5577 地域医療支援室

スタッフ募集

当院では、以下の職種について募集しております。

- ・保健師
- ・薬剤師
- ・介護職
- ・看護師
- ・看護助手

勤務日・勤務時間等については相談可能です。ご不明な点は、担当まで何なりとお問い合わせください。

【お問い合わせ】0545-81-2211
内線12 総務課 総務担当

【案内図】



共立蒲原総合病院

〒421-3306 静岡県富士市中之郷2500番地の1
TEL : (0545) 81-2211 FAX : (0545) 81-2208
ホームページ : <http://www.kanbarahp.com>